

令和6年3月5日
建設・水道常任委員会資料
上下水道部

宇治市水道事業ビジョン・経営戦略第1次事業実施計画総括、第2
次事業実施計画（案）及び第2次財政収支見通しについて

目 次

1. 宇治市水道事業ビジョン・経営戦略 第1次事業実施計画総括 P. 1～
2. 宇治市水道事業ビジョン・経営戦略 第2次事業実施計画（案） P. 18～
3. 宇治市水道事業ビジョン・経営戦略 第2次財政収支見通し P. 28～

宇治市水道事業ビジョン・経営戦略
第1次事業実施計画

総 括

令和6年3月

宇治市上下水道部

1. 策定の目的

令和3年3月に「宇治市水道事業ビジョン・経営戦略」（以下、「水道ビジョン」という。）を策定し、今後10年間の水道事業の方向性および投資・財政計画を示しました。水道ビジョンでは、宇治市水道事業の基本理念を「安全な水道水の確実かつ持続的な供給」とし、基本方針、基本目標を定め、目標を実現するための基本となる施策を示しています。

この事業実施計画は、水道ビジョンの基本施策を実現するための具体的な取り組みを定めたもので、事業の目標、内容、取組予定を具体化し、事業執行の財政見通しを立てた上で、実施計画に基づき事業を実施することにより、水道ビジョンの着実な実現を目指すものです。

実施に当たり、令和3年度～5年度までの3年間を第1次、令和6年度～8年度までの3年間を第2次、令和9年度～12年度までの4年間を第3次事業実施計画とし策定しています。

2. 第1次事業実施計画の評価

第1次事業実施計画の進捗、成果等を検証し、事業ごとの評価を行いました。

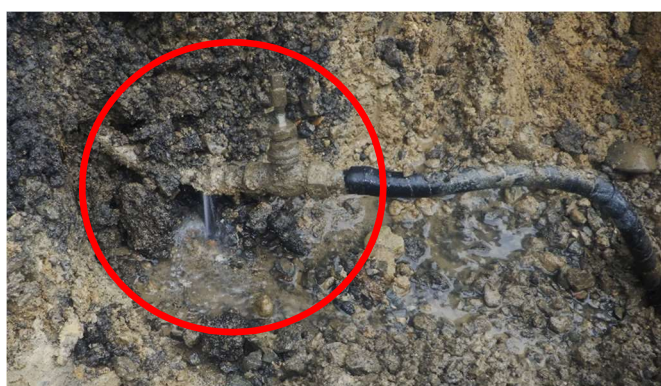


3. 事業実施計画

基本目標 1-1 水質管理の充実

基本施策 1-1-3 鉛製給水管の解消

事業・取組	1-1-3-1 鉛製給水管解消事業			
内容	老朽管更新・耐震化事業等にあわせて、鉛製給水管の布設替えを進め、年間1,000件の布設替えを目標とします。			
スケジュール	R3	R4	R5	R6以降
鉛製給水管布設替え	計画	→		
	実施	→		
事業費	300,000千円 → 255,000千円（見込）			
備考				
評価	鉛製給水管の布設替えを進め、この3年間の布設替え件数は、約2,000件になる見込みです。引き続き、他事業に伴う改良時に実施するなど計画的且つ効率的に布設替えを行うこととしています。			



鉛製給水管からの漏水状況（拡大写真）









※ 鉛製給水管は錆びにくく加工・修繕が容易ではあるが漏水しやすい。



布設替え完了（遠景写真）

基本目標 2-1 水道施設の更新・耐震化の推進

基本施策 2-1-1 浄水場等の整備

事業・取組	2-1-1-1 浄水場整備事業				
内 容	宇治浄水場の急速ろ過機、電気・機械設備等、老朽化した設備を更新します。				
スケジュール		R3	R4	R5	R6以降
管理棟改修	計画				
	実施				
排水処理設備更新	計画				
	実施				
急速ろ過池築造	計画				
	実施				
事業費	1,341,000千円 → 842,000千円（見込）				
備考					
評価	安定した運用が図れるよう、宇治浄水場の老朽化した管理棟（防水処理・外壁等）の改修、排水処理設備（洗浄排水池・分離水槽・場内配管等）の更新及び急速ろ過池の築造を行っており、引き続き、急速ろ過池の築造を行う予定です。				

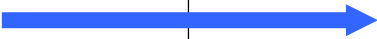





2-1-1-1 浄水場整備事業（宇治浄水場）



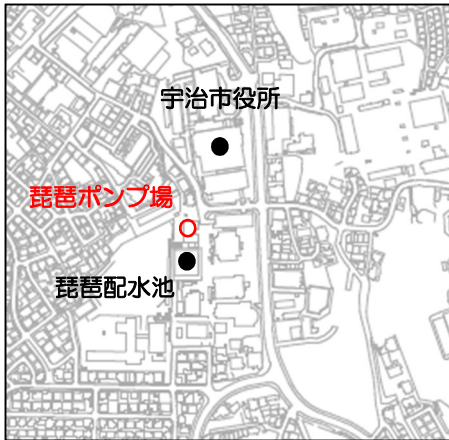
宇治浄水場



急速ろ過池築造状況
(躯体部鉄筋組立段階)

事業・取組	2-1-1-2 主要配水池・ポンプ場耐震化等整備事業				
内容	水道施設の再編成を進めながら、五ヶ庄配水池・ポンプ場の耐震化、老朽化した設備の更新等および琵琶ポンプ場の送水能力増強、老朽化した設備の更新等を行います。神明高区配水池の廃止により、配水池の耐震化率は39%に向上する見込みです。				
スケジュール		R3	R4	R5	R6以降
琵琶ポンプ場 電気設備更新工事	計画				
	実施				
五ヶ庄配水池第3配水池 耐震補強工事	計画				
	実施				
事業費	502,000千円 → 321,000千円（見込）				
備考					
評価	<p>琵琶配水池と折居台配水池を結ぶ琵琶送水管の送水能力の増強のため、琵琶ポンプ場の更新を行い、安定した送水量の確保が可能となり、折居台配水池の効果的な運用が図れることになりました。</p> <p>また、配水区域の再編を行い、令和3年度末に神明高区配水池を廃止し、配水池の耐震化率は39.8%に向上しました。</p> <p>更なる配水池の耐震化を図るため、令和4年度より市内全域の給水人口の約2割を占める五ヶ庄配水池の耐震化工事に着手しました。</p>				

2-1-1-2 主要配水池・ポンプ場耐震化等整備事業（琵琶ポンプ場）



位置図（琵琶ポンプ場）



外観（琵琶ポンプ場）



施工状況 1
基盤搬入状況

※ 送水量の増加に伴うポンプ稼働を安定させるため、老朽化した電気設備を更新しました。



施工状況 2
結線状況

2-1-1-2 主要配水池・ポンプ場耐震化等整備事業（五ヶ庄配水池）



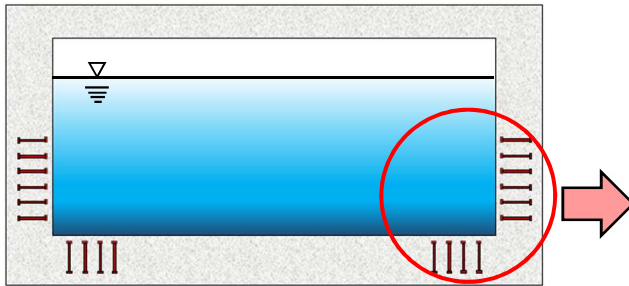
位置図（五ヶ庄配水池）

【五ヶ庄配水池（第3配水池）】

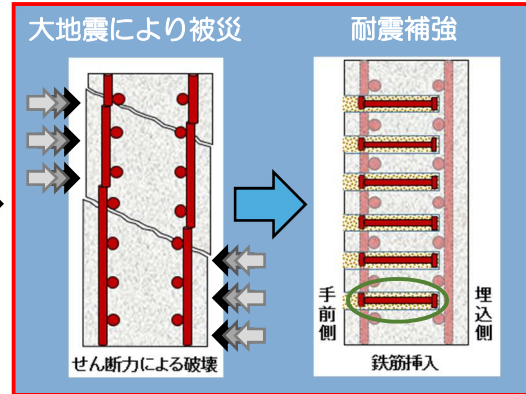


※ 地震で生じるせん断力に耐えるため、せん断補強工を実施しています。

配水池断面



耐震補強イメージ



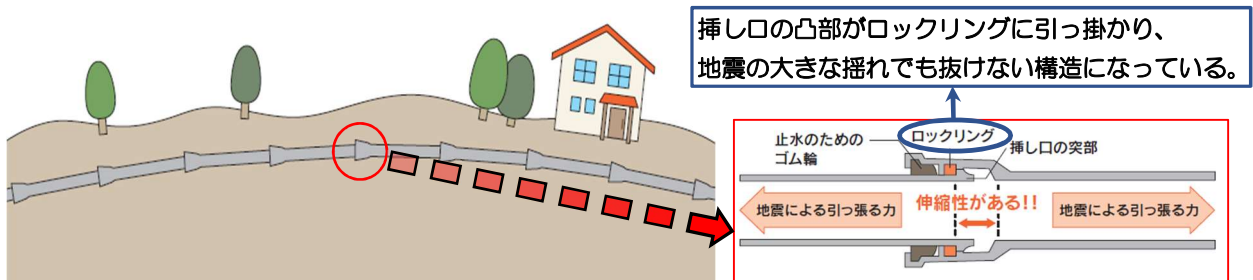
あと施工せん断補強工
（削孔工）



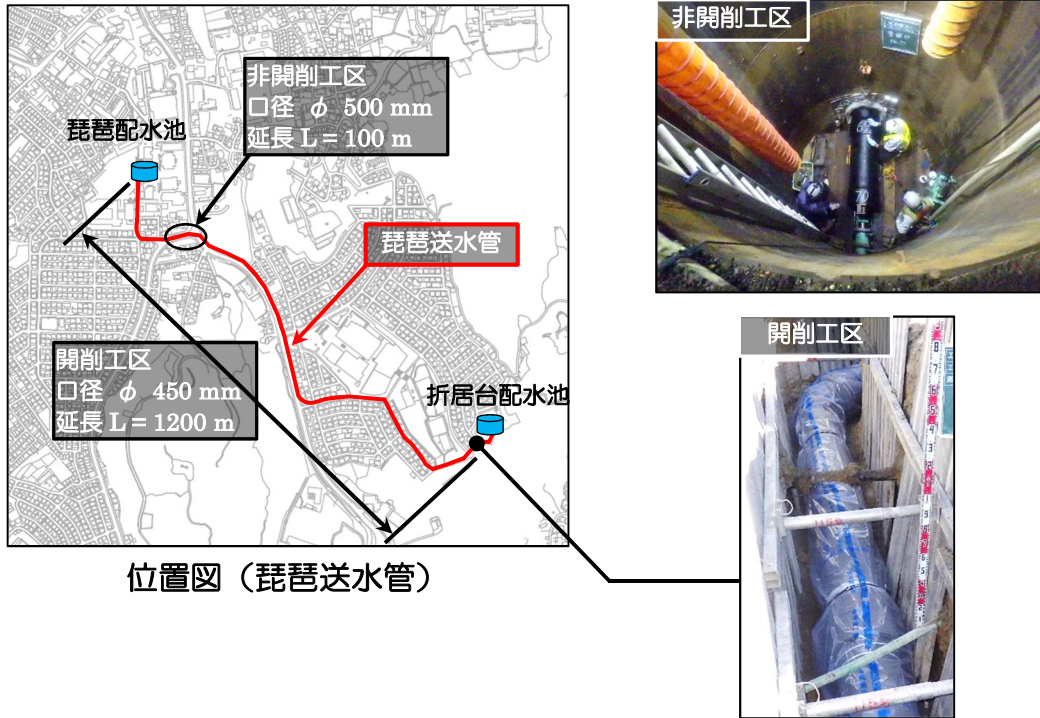
あと施工せん断補強工
（鉄筋挿入工）

基本施策 2-1-2 管路の更新・耐震化

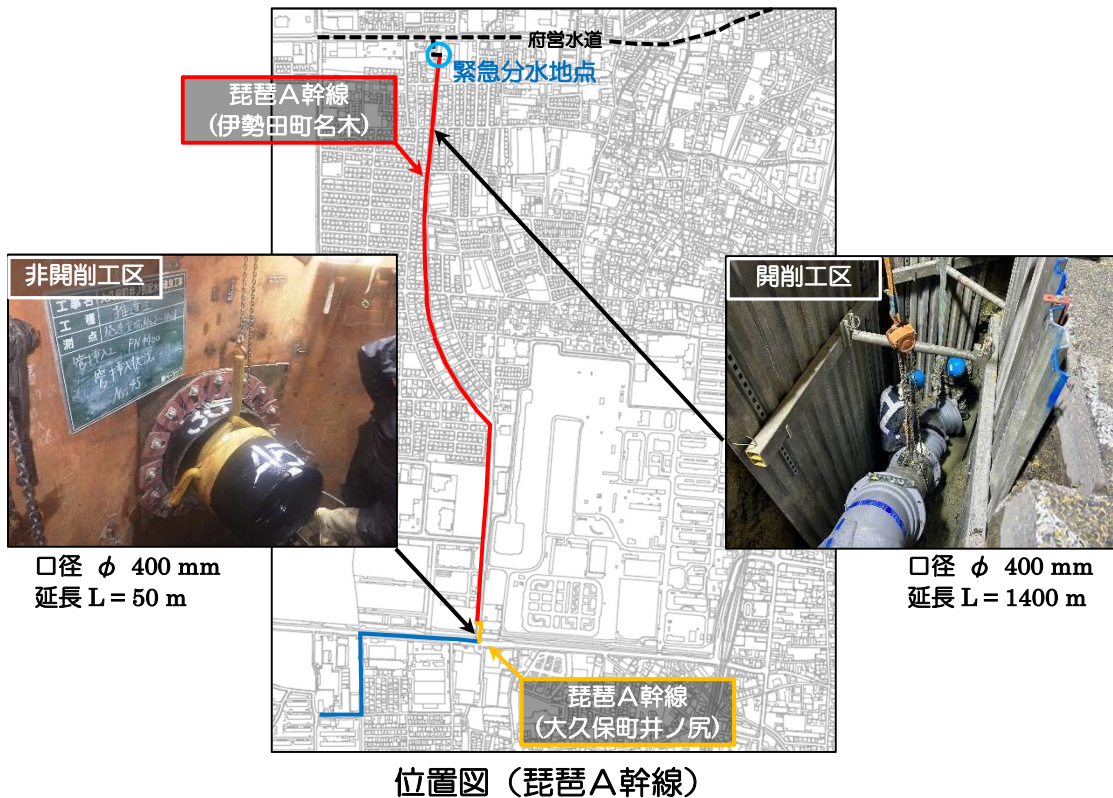
事業・取組	2-1-2-1 基幹管路更新・耐震化事業				
内容	琵琶送水管、琵琶配水本管等の基幹管路の更新・耐震化を進め、基幹管路の耐震適合率を27%まで向上させることを目標とします。				
スケジュール		R3	R4	R5	R6以降
琵琶送水管改良工事	計画	→			
	実施		→		
琵琶 A 幹線 配水本管改良工事 (大久保町井ノ尻)	計画	→			
	実施		→		
琵琶 A 幹線 配水本管改良工事 (伊勢田町名木)	計画			→	→
	実施			→	→
事業費	965,000千円 → 1,344,000千円(見込)				
備考					
評価	<p>耐震化が図れている琵琶及び折居台配水池を結ぶ琵琶送水管の耐震化、府営水道名木緊急分水施設と直結している琵琶 A 幹線配水本管の一部の耐震化が完了し、基幹管路の耐震適合率は令和5年度末には30.1%になる見込みです。引き続き、琵琶 A 幹線配水本管等の更新・耐震化を進めています。</p> <p>なお、令和5年度より国の交付金を活用し、基幹管路の更新工事を実施しています。</p>				







2-1-2-1 基幹管路更新・耐震化事業（琵琶送水管改良工事）

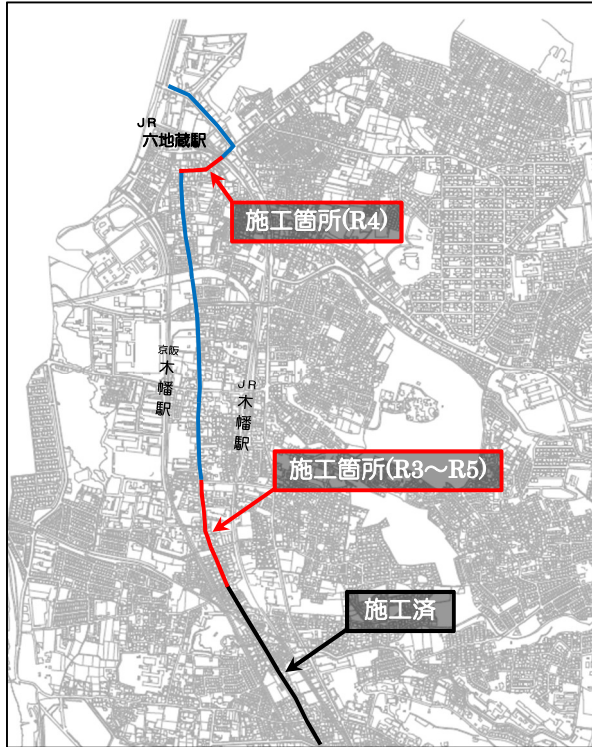


2-1-2-1 基幹管路更新・耐震化事業（琵琶A幹線配水本管改良工事）



事業・取組	2-1-2-2 老朽管更新・耐震化事業				
内 容	石綿セメント管や鋳鉄管等の老朽管の更新・耐震化を進め、管路の耐震適合率を29%まで向上させることを目標とします。				
スケジュール		R3	R4	R5	R6以降
五ヶ庄六地蔵線 配水管改良工事ほか	計画				
	実施				
事業費	750,000千円 → 1,132,000千円（見込）				
備 考					
評 価	<p>強度の劣る石綿セメント管や鋳鉄管等の老朽管を優先して更新・耐震化を進めたことにより、全管路の耐震適合率は令和5年度末には30.7%になる見込みです。</p> <p>また、市道五ヶ庄六地蔵線に埋設されている老朽化した配水管の改良工事については、令和4年度より、国の交付金を活用しています。</p>				

2-1-2-2 老朽管更新・耐震化事業



位置図（工事箇所の一例）









施工状況（既設管撤去工）



施工状況（新設管布設工）

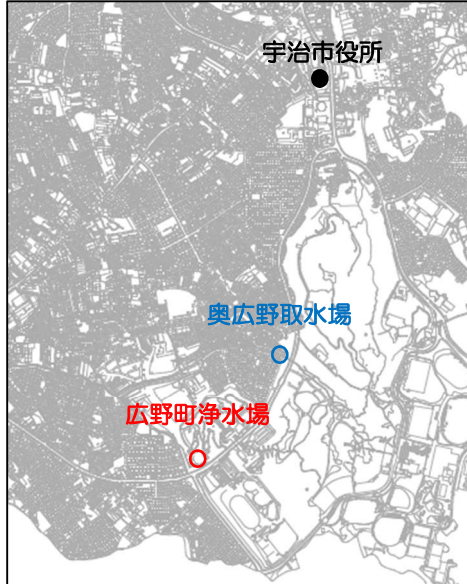
基本目標 3-1 安定した水運用

基本施策 3-1-1 水道施設の再編成

事業・取組	3-1-1-1 浄水場統廃合事業				
内 容	令和3年度末の完成を目途に、新たな浄水場（広野町浄水場）を整備し、老朽化した神明、奥広野浄水場の統廃合を行います。浄水場の統廃合により、浄水施設の耐震化率は82%に向上する見込みです。				
スケジュール		R3	R4	R5	R6以降
広野町浄水場整備	計画				
	実施				
奥広野取水場 取水設備設置工事	計画				
	実施				
浄水場統廃合	計画				
	実施				
事業費	220,000千円 → 226,000千円				
備考					
評 価	<p>令和3年度に広野町浄水場の広野取水場の供用、令和4年度には奥広野取水場を供用し、広野町浄水場の全てが完成したことにより、浄水施設の耐震化率は令和4年度末には82.1%になりました。</p> <p>なお、広野町配水区域については順次拡張しています。</p>				

3-1-1-1 浄水場統廃合事業（広野町浄水場整備）

【 広野町浄水場 】









位置図
(広野町浄水場・奥広野取水場)



【奥広野取水場】

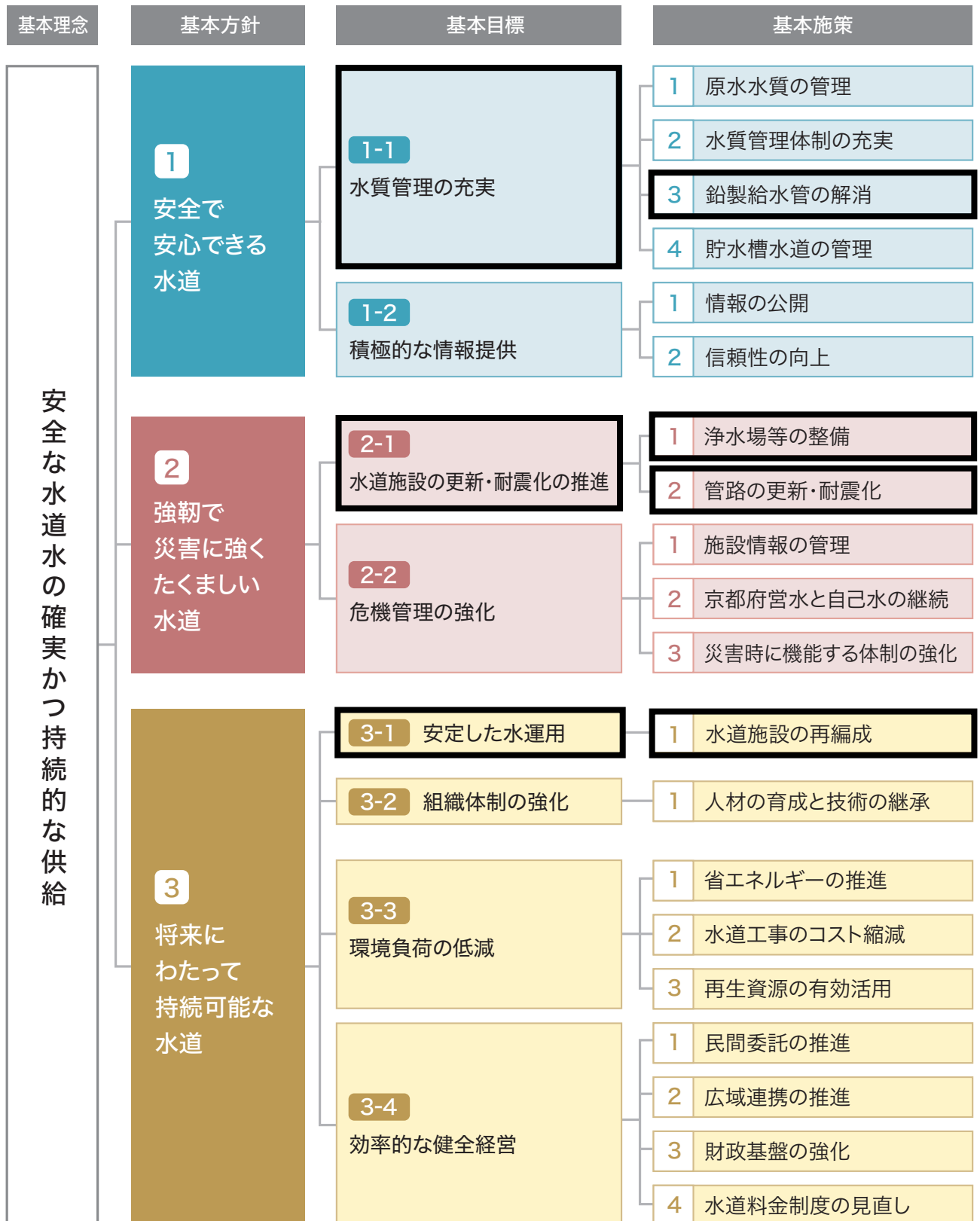


事業・取組	3-1-1-2 配水区域再編事業				
内 容	将来の水需要を見据えた施設の規模・配置の適正化を図るとともに、平常時における水量・水圧の安定と災害時における給水の相互運用を図るため、配水区域の再編に基づき、順次、配水区域の変更を行います。				
スケジュール		R3	R4	R5	R6以降
配水管布設工事 (小倉町西山地区)	計画				
	実施				
配水区域変更	計画				
	実施				
事業費	32,000千円 → 64,000千円（見込）				
備 考	小倉町西山地区配水管工事は広野町配水区域拡張のため実施				
評 価	配水区域の再編に基づき、川西地区の広野町、折居台、東山の各配水区域の一部および神明浄水場配水区域の全域を変更しました。引き続き、川西地区の配水区域の再編を進めます。				

4. 事業実施計画総括表

事業・取組	事業費（千円）		取組目標（R5年度末）		
	計画額	見込額	内容	目標値	見込値
鉛製給水管解消事業 (P.3)	300,000	255,000	布設替数(件)	3,000	2,000
浄水場整備事業 (P.4)	1,341,000	842,000	-	-	-
主要配水池・ポンプ場 耐震化等整備事業 (P.6)	502,000	321,000	配水池 耐震化率(%)	39	39.8
基幹管路 更新・耐震化事業 (P.9)	965,000	1,344,000	基幹管路 耐震適合率(%)	27	30.1
老朽管 更新・耐震化事業 (P.11)	750,000	1,132,000	全管路 耐震適合率(%)	29	30.7
浄水場統廃合事業 (P.13)	220,000	226,000	浄水施設 耐震化率(%)	82	82.1
配水区域再編事業 (P.15)	32,000	64,000	-	-	-
合計	4,110,000	4,184,000			

「宇治市水道事業ビジョン・経営戦略」の施策体系



宇治市水道事業ビジョン・経営戦略
第2次事業実施計画

(案)

令和6年3月

宇治市上下水道部

1. 策定の目的

令和3年3月に「宇治市水道事業ビジョン・経営戦略」（以下、「水道ビジョン」という。）を策定し、今後10年間の水道事業の方向性および投資・財政計画を示しました。水道ビジョンでは、宇治市水道事業の基本理念を「安全な水道水の確実かつ持続的な供給」とし、基本方針、基本目標を定め、目標を実現するための基本となる施策を示しています。

この事業実施計画は、水道ビジョンの基本施策を実現するための具体的な取り組みを定めたもので、事業の目標、内容、取組予定を具体化し、事業執行の財政見通しを立てた上で、実施計画に基づき事業を実施することにより、水道ビジョンの着実な実現を目指すものです。

事業実施計画は令和3年度～5年度までの3年間を第1次、令和6年度～8年度までの3年間を第2次、令和9年度～12年度までの4年間を第3次事業実施計画とし策定しています。

2. 第2次事業実施計画

第1次事業実施計画（令和3年度～5年度）で取り組んだ施策の進捗、事業の成果等を検証し、第2次事業実施計画を策定しました。



3. 事業実施計画

基本目標 1-1 水質管理の充実

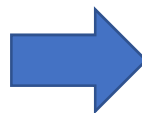
基本施策 1-1-3 鉛製給水管の解消

事業・取組	1-1-3-1 鉛製給水管解消事業			
内容	老朽管更新・耐震化事業等にあわせて、鉛製給水管の布設替えを進め、年間1,000件の布設替えを目標とします。			
スケジュール	R6	R7	R8	R9以降
鉛製給水管布設替え				
事業費	300,000千円			
備考				



鉛製給水管からの漏水状況（拡大写真）

※ 鉛製給水管は錆びにくく加工・修繕が容易ではあるが漏水しやすい。

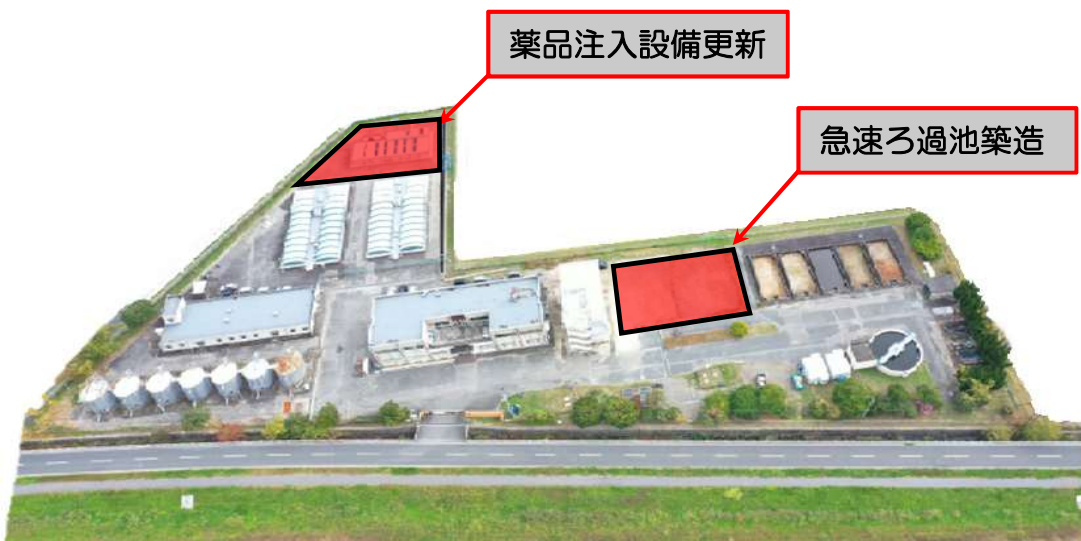


布設替え完了
（遠景写真）

基本目標 2-1 水道施設の更新・耐震化の推進

基本施策 2-1-1 浄水場等の整備

事業・取組	2-1-1-1 浄水場整備事業			
内 容	宇治浄水場の急速ろ過機、薬品注入設備、電気・機械設備等の老朽化した設備を更新します。			
スケジュール	R6	R7	R8	R9以降
急速ろ過池築造	→			
薬品注入設備更新			→	→
事業費	1,651,000千円			
備 考				



宇治浄水場

事業・取組	2-1-1-2 主要配水池・ポンプ場耐震化等整備事業			
内 容	水道施設の再編成を進めながら、五ヶ庄配水池、五ヶ庄ポンプ場の耐震化、老朽化した設備の更新等を行います。 また、配水区域の再編を行い、東山配水池を廃止します。配水池の耐震化及び再編により、配水池の耐震化率は39.8%から56%に向上する見込みです。			
スケジュール	R6	R7	R8	R9以降
五ヶ庄配水池 第3配水池 耐震補強工事	→			
五ヶ庄配水池 第2配水池 耐震補強工事			→	
事業費	303,000千円			
備 考				



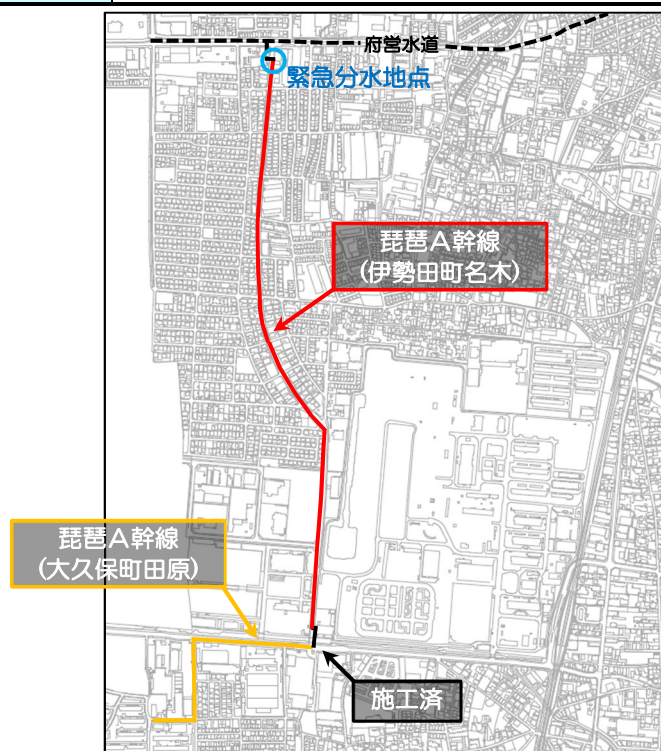
位置図（五ヶ庄配水池）





外観（五ヶ庄配水池）

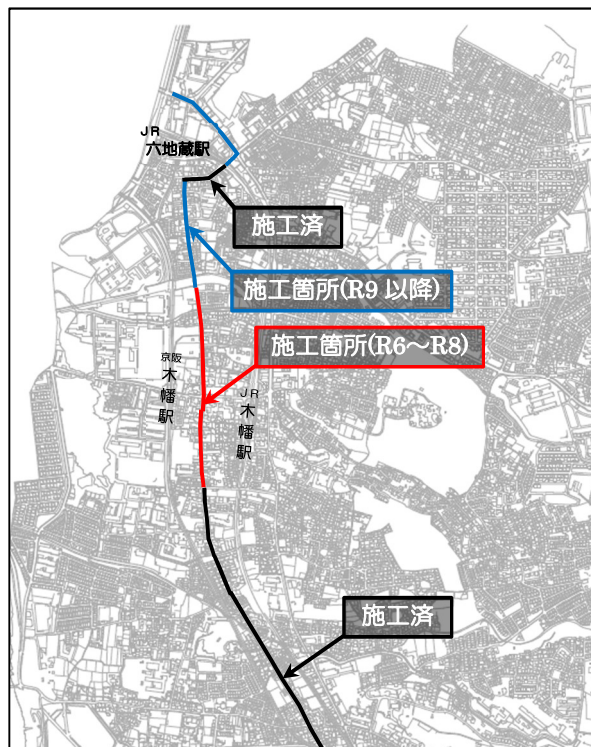
基本施策 2-1-2 管路の更新・耐震化

事業・取組	2-1-2-1 基幹管路更新・耐震化事業			
内容	琵琶A幹線（伊勢田町名木・大久保町田原）配水本管等の基幹管路の更新・耐震化を進め、基幹管路の耐震適合率は30.1%から32%に向上する見込みです。 なお、基幹管路の改良工事は国の交付金を活用し実施します。			
スケジュール	R6	R7	R8	R9以降
琵琶A幹線 配水本管改良工事 （伊勢田町名木）	→			
琵琶A幹線 配水本管改良工事 （大久保町田原）			→	
事業費	823,000千円			
備考				



位置図（琵琶A幹線）


事業・取組	2-1-2-2 老朽管更新・耐震化事業			
内 容	<p>強度の劣る石綿セメント管や鋳鉄管等の老朽管の更新・耐震化を進め、管路の耐震適合率は30.7%から32%に向上する見込みです。</p> <p>なお、市道五ヶ庄六地蔵線に埋設されている老朽化した配水管の改良工事は、国の交付金を活用し実施します。</p>			
スケジュール	R6	R7	R8	R9 以降
五ヶ庄六地蔵線配水管改良工事ほか				
事業費	808,000千円			
備 考				



位置図（工事箇所の一例）

基本目標 3-1 安定した水運用

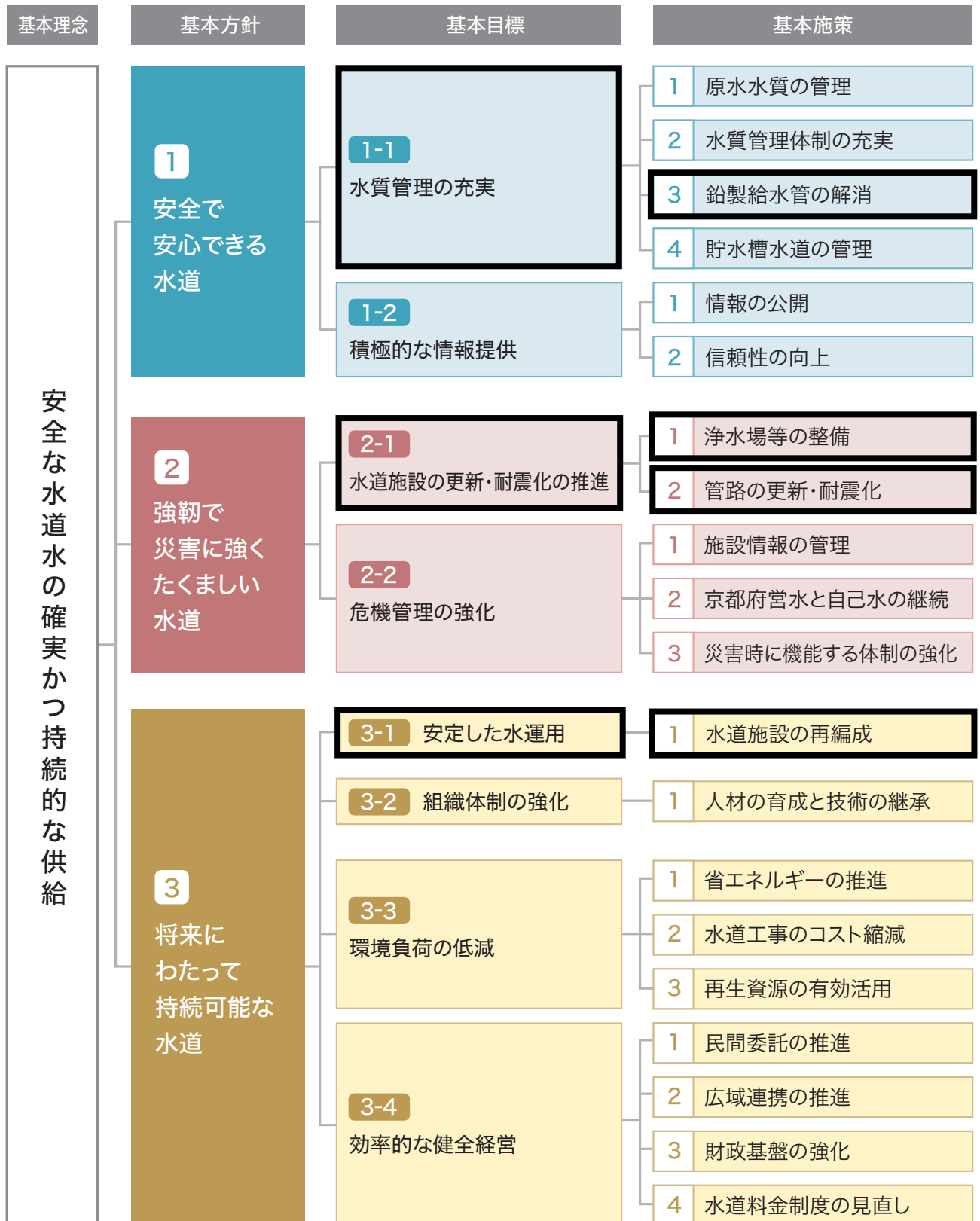
基本施策 3-1-1 水道施設の再編成

事業・取組	3-1-1-1 配水区域再編事業			
内容	<p>将来の水需要を見据えた施設の規模・配置の適正化を図るとともに、平常時における水量・水圧の安定と災害時における給水の相互運用を図るため、配水区域の再編に基づき、順次、川西地区の配水区域の変更を行います。</p>			
スケジュール	R6	R7	R8	R9以降
配水区域変更				
事業費	0千円			
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・東山配水区域を広野町配水区域及び折居台配水区域に変更 ・下居配水区域の一部を広野町配水区域に変更 			

4. 事業実施計画表

事業・取組	事業費（千円）	取組目標（R8年度末）	
	計画額	内 容	目標値
鉛製給水管解消事業 (P.20)	300,000	布設替数(件)	3,000
浄水場整備事業 (P.21)	1,651,000	-	-
主要配水池・ポンプ場 耐震化等整備事業 (P.22)	303,000	配水池 耐震化率(%)	56
基幹管路 更新・耐震化事業 (P.23)	823,000	基幹管路 耐震適合率(%)	32
老朽管 更新・耐震化事業 (P.24)	808,000	全管路 耐震適合率(%)	32
配水区域再編事業 (P.25)	0	-	-
合 計	3,885,000		

「宇治市水道事業ビジョン・経営戦略」の施策体系



宇治市水道事業ビジョン・経営戦略
第2次財政収支見通し

令和6年3月

宇治市上下水道部

1. 宇治市水道事業ビジョン・経営戦略第2次財政収支見通しの策定について

上下水道部では、令和3年3月に策定した「宇治市水道事業ビジョン・経営戦略」（以下「水道ビジョン」という。）に沿った施策推進のため、令和3年度から5年度の第1次事業実施計画を策定し、事業に取り組んでまいりました。

この度、第1次事業実施計画の進捗、成果等を検証し、引き続き、令和6年度から8年度の3年間の事業年度とする第2次事業実施計画を策定いたします。これに伴い、計画期間の施策を実施していく上での収支見通しを明らかにするため、令和3年度から3年間の財政収支を総括し、令和6年度から3年間の第2次財政収支見通しを策定いたしました。

数値については、令和3、4年度は決算額、令和5年度は決算見込額、令和6年度は当初予算額、令和7、8年度は見込額としております。

2. 収益的収支

1) 収益的収支総括および見通し

（税抜 単位：千円）

	第1次実施計画			第2次実施計画		
	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
収益的収入	3,632,219	3,632,594	3,838,207	3,960,302	3,889,429	3,851,360
収益的支出	3,753,247	3,889,233	3,994,581	4,110,559	4,148,721	4,283,083
純損益	△ 121,028	△ 256,639	△ 156,374	△ 150,257	△ 259,292	△ 431,723

令和4年10月使用分より水道料金の改定を実施したため、令和5年度から収入は増加していますが、水需要の減少により、ゆるやかに給水収益が減少していく見込みです。支出については、原油や物価の高騰により、動力費や薬品費などの支出が増加しており、こうした状況が続くと、赤字で推移すると見込んでいます。

2) 収益的収入の内訳

（税抜 単位：千円）

	第1次実施計画			第2次実施計画		
	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
収益的収入	3,632,219	3,632,594	3,838,207	3,960,302	3,889,429	3,851,360
給水収益	2,905,618	2,616,804	3,047,018	3,095,322	3,241,255	3,205,106
補助金	16,702	423,787	228,483	246,719	50,567	53,198
長期前受金戻入	299,881	293,210	288,086	288,225	281,290	276,739
その他収益	410,018	298,793	274,620	330,036	316,317	316,317

令和4年10月使用分より水道料金を改定していますが、令和4～6年度に水道料金の減免を実施しているため、給水収益は減少し、一般会計による補助金が増加しています。

給水収益は、今後も人口減少などによる水需要の減少により、減少する見込みです。

3) 収益的支出の内訳

(税抜 単位：千円)

	第1次実施計画			第2次実施計画		
	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
収益的支出	3,753,247	3,889,233	3,994,581	4,110,559	4,148,721	4,283,083
職員給与費	449,059	443,110	453,298	485,944	458,966	458,966
受水費	1,538,714	1,649,730	1,645,455	1,635,455	1,629,369	1,621,390
減価償却費等	879,588	918,251	962,513	992,653	1,047,132	1,169,785
支払利息	75,989	73,365	93,736	103,728	136,979	156,667
その他費用	809,897	804,777	839,579	892,779	876,275	876,275

受水費は、令和2年度からの京都府営水道料金の改定により増加しましたが、受水量の減少により、令和4年度をピークに減少する見込みです。なお、令和7年度以降の京都府営水道料金については、現時点では現行の単価で推計しています。

減価償却費は、ここ数年の老朽管更新や耐震化事業等の実施により増加しています。

支払利息は、工事実施のために企業債を借りているため、増加していく見込みです。

その他費用は、原油や物価の高騰により、動力費や薬品費などが増加しています。

3. 資本的収支

1) 資本的収支総括および見通し

(税込 単位：千円)

	第1次実施計画			第2次実施計画		
	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
資本的収入	1,647,094	1,782,940	2,020,127	1,645,847	1,257,037	935,453
資本的支出	2,418,192	2,661,511	2,761,301	2,437,700	2,048,142	1,852,785
収支不足額	△ 771,098	△ 878,571	△ 741,174	△ 791,853	△ 791,105	△ 917,332

老朽化が進む水道施設の更新・耐震化事業を着実に進めるため、資本的支出は大きな金額となっています。

収支不足額については、国庫補助金を活用するとともに、企業債を借り入れ、内部留保資金で補填しながら対応していく予定です。

2) 資本的収入の内訳

(税込 単位：千円)

	第1次実施計画			第2次実施計画		
	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
資本的収入	1,647,094	1,782,940	2,020,127	1,645,847	1,257,037	935,453
企業債	1,168,000	1,547,100	1,528,100	1,319,000	1,097,200	700,500
補助金	0	5,381	36,087	56,000	5,000	65,000
出資金	275,677	155,282	256,876	168,788	36,037	51,153
その他収入	203,417	75,177	199,064	102,059	118,800	118,800

補助金や出資金は、事業の内容により年度ごとに額は異なりますが、令和4年度からは国庫補助金を活用し、新たな財源を確保しています。今後も積極的に補助金等を活用するように取り組みます。

3) 資本的支出の内訳

(税込 単位：千円)

	第1次実施計画			第2次実施計画		
	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
資本的支出	2,418,192	2,661,511	2,761,301	2,437,700	2,048,142	1,852,785
建設改良費	1,970,593	2,106,837	2,353,220	2,057,959	1,613,130	1,297,074
企業償還金	447,599	454,674	408,081	379,741	435,012	555,711
投資	0	100,000	0	0	0	0

※6年度の建設改良費には予備費を含む

事業実施計画に基づき、年度ごとに建設改良費の額は異なりますが、計画的に水道施設の更新・耐震化工事を進めています。

令和4～6年度は琵琶送水管の改良工事など大規模な工事を実施したことにより、建設改良費が大きくなっています。

令和4年度の投資1億円は、新たな収入を確保するため、債券（20年）を購入したものです。

4. 総括

(税抜 単位：千円)

	第1次実施計画			第2次実施計画		
	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
収益的収入	3,632,219	3,632,594	3,838,207	3,960,302	3,889,429	3,851,360
収益的支出	3,753,247	3,889,233	3,994,581	4,110,559	4,148,721	4,283,083
純損益	△ 121,028	△ 256,639	△ 156,374	△ 150,257	△ 259,292	△ 431,723

(税込 単位：千円)

	第1次実施計画			第2次実施計画		
	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
資本的収入	1,647,094	1,782,940	2,020,127	1,645,847	1,257,037	935,453
資本的支出	2,418,192	2,661,511	2,761,301	2,437,700	2,048,142	1,852,785
収支不足額	△ 771,098	△ 878,571	△ 741,174	△ 791,853	△ 791,105	△ 917,332

資金残高（内部留保資金）	1,691,957	1,357,852	1,329,201	1,266,768	1,106,497	749,239
--------------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	---------

企業債残高	8,302,184	9,394,610	10,514,630	11,453,889	12,116,076	12,260,865
-------	-----------	-----------	------------	------------	------------	------------

収益的収支は、赤字で推移する見込みであり、資金残高（内部留保資金）は約7.5億円まで減少する見込みです。

資本的収支は、老朽化した水道施設の更新・耐震化に取り組んでいくため、国庫補助金を活用し、企業債の借り入れや内部留保資金からの補填により対応していく予定です。

企業債残高は、水道施設の更新・耐震化事業の実施に伴い増加していく見込みです。

5. 今後に向けた課題と展望について

水道は市民生活に必要不可欠なものであり、この間、令和3年度から「水道ビジョン」の施策を積極的に推進するため、第1次事業実施計画を策定し、老朽化が進む水道施設の更新・耐震化事業に取り組んできました。

しかしながら、人口減少などによる水需要の減少に加え、原油や物価の高騰により、動力費や薬品費などの支出が増加しているものの、人口急増期に建設した水道施設の老朽化が進む中、地震などの災害に備えた対策が強く求められていることから、引き続き、水道施設の更新・耐震化に取り組む必要があり、水道事業の経営は一層厳しさを増していくことが予測されます。

水道事業を取り巻く状況は大変厳しいところですが、「水道ビジョン」に掲げる基本理念である「安全な水道水の確実かつ持続的な供給」を目指し、10年後、さらにその先の50年後、100年後の将来も見据えた、より一層効果的・効率的な水道事業の運営に取り組んでまいります。